

# 今日の空手 ー空手史逍遙ー

## 第1回

2023年6月6日 → 1930年6月6日

Back to 93 years ago

さていよいよ今日から始まる「今日の空手」、記念すべき第1回は今日（2023年6月6日）から93年前にあたる、1930年6月6日へのご案内いたします。

## 県立一中「唐手部」復活す！

1930年6月6日、沖縄県立第一中学校（略称は一中。現在の沖縄県立首里高等学校の前身）で「唐手部」が復活します。復活したということは、もともとあった「唐手部」が廃部あるいは休部の憂き目にあっていたことを意味します。

一中「唐手部」の歴史を紐解けば、その成立は1905年に遡ります。そもそも公的な学校教育の中に「唐手」が導入されたのが1905年のことですが、間を置かずに同校では「唐手部」が成立していました。成立当時の部長は花城長茂、ほかの教職員指導者に我部政恵、そして外部からの招聘指導者に糸洲安恒という陣容でした。

ところが招聘指導者であった糸洲安恒が1915年に亡くなると、一中における「唐手」教授は休課となり、それに伴うように「唐手部」も解消されました。以降1920年代初頭までは同校「唐手部」の存在は確認できません。これがふたたび史料で確認できるようになるのは、1924年になってからのことです。

しかし、この時に息を吹き返したように見えた「唐手部」でしたが、活動は長続きしなかったようです。1930年6月6日の「唐手部」復活を報じる新聞記事には「県立第一中学校の唐手部は廃止されて既に十年を経過」という文言があります。この書きぶりからは「唐手部」が長らく活動していなかったことがうかがえます。

この一中「唐手部」は、学校空手部としては最古のものです。栄えある「唐手部」の復活は、当時の空手関係者を勇気づけるものだったに違いないでしょう。

草莽居士

（2023年6月6日掲載）